

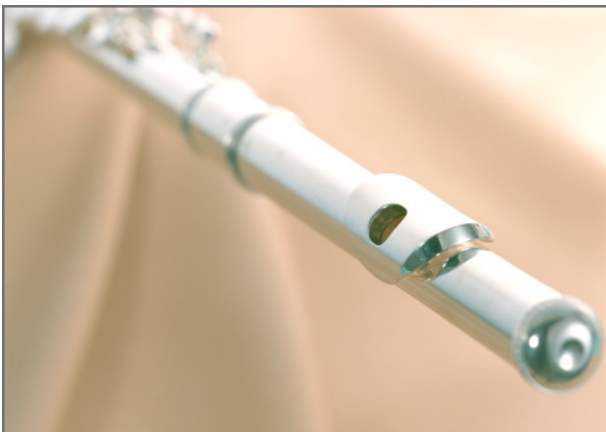
もっ がっ 木かん楽きについて

木かん楽きとは、もともと木で作られていた楽きのなかまを指す言葉です。その中には、今では金ぞくで作られている楽きもあります。また、音の出し方も楽きによってちがいます。

1. フルート



フルートをふく様子



フルートのふきこみ口

★フルートは、ふきこみ口のふちに息をふきつけて音を出しますが、みなさんのふくりコーダーと音の出るしくみは同じです。

★もともと木で作られていたので木かん楽きのなかまとされていますが、1847年のパリ万国はくらん会で金ぞくで作られたフルートが発表され、げんざいでは金ぞくの楽きが多く使われています。

★フルートのなかまの楽きには、楽きの長さが短くて高い音を出す「ピッコロ」などがあります。



2. オーボエ

右の写真^{しゃしん}の、オーボエとクラリネットをくらべて見てみましょう。

色や形がにていますね。

両方^{りょうほう}とも本体が木でできていて、金ぞくのキーがついています。

でも、オーボエとクラリネットは音を出すしくみがちがうので、音色もちがいます。



オーボエのふき口は、植物^{しょくぶつ}で作られた「リード」を2まい^む向かい合わせにして糸でまいたものです。

2まいのリードを直せつくちびるではさんで^{いき}息をふきこむことで、リードを細かくふるわせて音を出します。

とくちょうのある音色です。



オーボエのリード



オーボエのなかまで、オーケストラなどで時々見られる楽きに「イングリッシュホルン（コール・アングレ）」があります。

オーボエより楽きの長さが長く、ひくい音を出します。下部にあるベルが丸いのもとくちょうです。

3. クラリネット

クラリネットは、げんざい、
オーケストラだけでなく、すいそう楽など
いろいろな音楽で広く使^{つか}われています。
やわらかい音色と、音いきが広い（出せる
音が、ひくい音から高い音までは広い）
ところがとくちょうです。



クラリネット

クラリネットは、マウスピース（ふき口）に
と^と取り付けられた^{いき}1まいのリードを息でふるわせて
音を出す、1まいリードの楽きです。
マウスピースをくわえて息をふきこみます。
楽き本体は細かく分か^わか^いすることができます。



クラリネットには、より高い音を出すものや、
よりひくい音を出すものなど、
いろいろなしゅるいがあります。
よりひくい音を出すクラリネットのなかまには
楽きの長さが長く、
金ぞくのベルがついたものがあります。



ひくい音を出すバス・クラリネット

4. ファゴット（バスーン）

ファゴットは、オーボエと同じ
2まいリードの楽器です。
2まいのリードを糸でまいたものを、
楽器本体に取りつけた「ボーカル」
とよばれる金ぞくの細いくだの先に
取りつけてふきます。

ファゴットのリードはオーボエより
大きく、楽器本体のかんの^{ぜん}全長も
2メートル60センチと長いものです。
くだを二つおりにしたような形にも
とくちょうがあります。
木かん楽器ではひくい音を
たん当します。



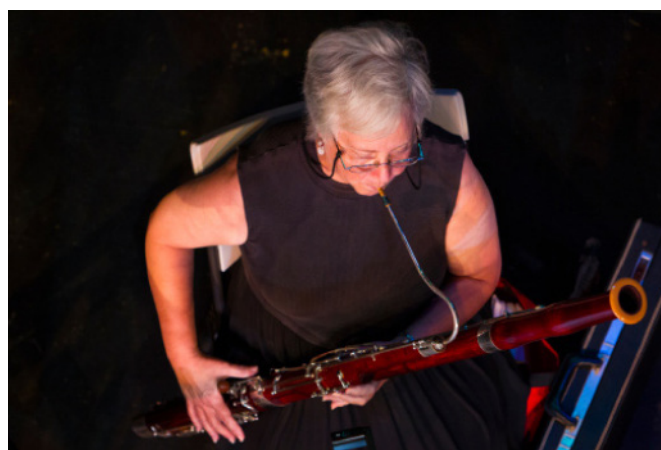
ファゴット



リードを取りつけた「ボーカル」の^{ぶふん}部分



スタンドに立てかけられた
コントラファゴット



上から見た^{ようす}様子

ファゴットのなかまに、さらにひくい音を出す
「コントラファゴット（ダブル・バスーン）」
という楽器があります。くだを4回^ま曲げてあり、
長くて^{おも}重く、ゆかに立ててえんそうします。